

CHIBA UNIVERSITY

FACULTY OF LAW, POLITICS AND ECONOMICS

千葉大学 法政経学部 2022-2023



CHIBA
UNIVERSITY

社会を見る**広い視野**を**獲得**し 夢中になれる社会科学の 専門分野をみつけよう！



法政経学部長
佐藤 栄作

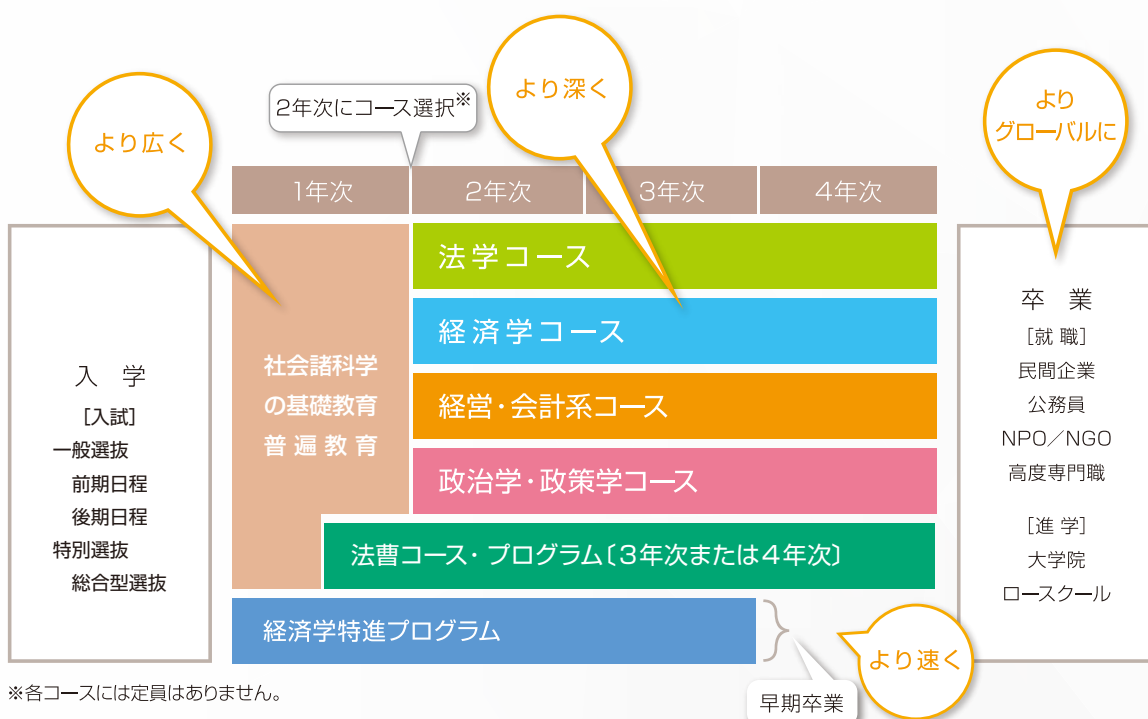
国内外において我々の生活に大きな影響を及ぼす出来事がいくつも起こり、少子高齢化や格差、環境問題等とも関連しつつ様々な課題を生じさせています。

我々の社会は多様な個人・組織で構成され、かつ政治・経済・技術・環境等の多面的で多層的な要因がその構造を複雑にしています。こうした諸課題に取り組むには広い視野と高い専門性が求められます。

法政経学部は、社会科学の諸分野を俯瞰しつつ特定分野の専門性を高め、社会の課題に挑戦する有能な人材の育成を目指す、国内屈指の社会科学の複合学部です。多くの学生が各々の問題意識を持って学んでいます。

皆さんも法政経学部で自分が夢中になれる専門分野をみつけてください。社会の課題に挑戦し、未来を切り開く志を持つ皆さんを待っています。

✓ 法政経学部 法政経学科の概要



法政経学部とは

✓ 総合的かつ専門性の高いカリキュラムと多様な選択肢

千葉大学法政経学部は、「社会科学分野の横断的な履修」と「高い専門性の獲得」を2つの柱として、1学科4コース制のカリキュラムに基づく教育を実施しています。

1年次には全学生が基礎ゼミナールに所属し、大学で能動的に学ぶ手法を身に付けるとともに、入門基礎各科目（法学、ミクロ経済学、マクロ経済学、経営・会計学、政治学など）の必修科目の受講を通し、社会科学の基礎を学びます。2年次に進級する際には自己の関心に合ったコースを自由に選択し、その後の3年間で様々な専門科目を履修して専門性の獲得を図ります。それと同時に、所属コース以外の科目も履修して社会科学の横断的知識を習得します。経営・会計系コースを例にとると、コース所属学生の多くが、組織論などの専門科目と並行して商法などの法学系科目や中東政治などの政治学系科目を履修しています。

法政経学部は、各学生のニーズに応じた多様な教育プログラムを提供しています。

経済学コースは、学問への関心が特に高い学生を対象として、1年次から専門教育を実施して3年間で卒業を可能とする経済学特進プログラムを設けています。

法学コースは、法科大学院への進学を希望し、かつ早期卒業を目指すための教育プログラムとして、2016年度から法学特進プログラムを実施してきましたが、2020年度からこのプログラムを発展させた「法曹コース・プログラム」を新設しました。

また、少人数ゼミナールや海外フィールド・スタディ、実習型の授業や外国語教育、海外留学など、多様な学びの機会を提供しています。

✓ 「問題解決のプロフェッショナル」を養成

複雑化した現代社会の諸問題を解決するには、高度な専門知識を身に付けていることは当然ながら、他分野の専門家の考えを理解する広い視野、そして合意形成への道筋をつける運営力も必要となります。

法政経学部では、特徴あるカリキュラムを通じて「問題解決のプロフェッショナル」たりうる高度専門職業人を養成します。在学中に海外留学や留学生との交流、各種のボランティア活動などに参加する学生も多く、多様な経験に裏打ちされた問題解決能力を育む環境が整っています。こうした能力は、民間企業ではもちろんのこと、国および地方自治体、法曹界、国際機関での実務において大いに活用されることでしょう。

✓ 卒業後の進路

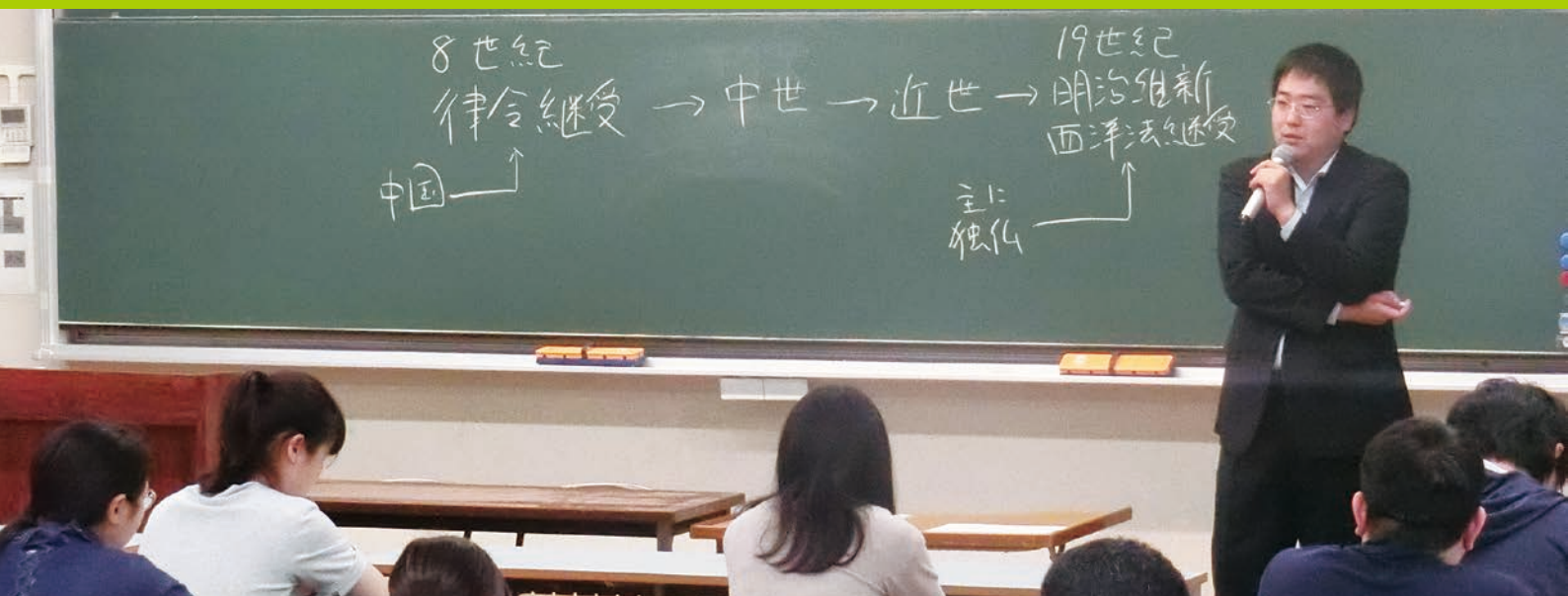
法政経学部の卒業生は、多くの一流民間企業に就職しているほか、国家公務員試験、地方公務員試験、司法試験、公認会計士試験、税理士試験などにおいて優れた合格実績を上げています。近年ではより高い専門性やグローバルな視野の獲得、あるいは国際機関への就職などを目指し、大学院に進学する学生も増加しています。

Check!

法学コース

MAJOR IN LAW

法的思考の基礎と幅広い視野を修得し、様々な社会問題を法学の視点から分析・解決する能力を有する人材を養成します。



✓ 法学コースの目的

首都圏の国立大学で法学を学べる学部・学科は、あまり多くありません。その中で法学コースは、その前身である法経学部法学科以来、多くの公務員や法曹を輩出するなど学部の一部でありながら教育・研究の水準において、他大学の法学部に引けを取らぬ実績を誇ってきました。

✓ 基礎の確実な修得

学部卒業後にどのような進路を選択するとしても、基礎を確実に身に付けることが法学修得の第一歩となります。しかし、伝統的な法学教育では、大人数での講義形式の授業が主に行われてきたため、学生は基礎を十分に身に付けられず、法学修得を断念しがちであるという弊害があります。そこで法学コースでは、「2年法学演習」という少人数での授業を通じて、より確実に法学の基礎を身に付ける機会を提供します。

✓ 法律の専門家とオールラウンダーの養成

伝統的な法学教育では、弁護士、裁判官や検察官といった法律の専門家（法曹）の養成を予定した専門性の高い授業が学生全員に行われてきました。しかし、すべての学生がそのような希望をもっているわけではありません。また、伝統的な講義形式の授業では専門知識の伝授に限界があります。そこで法学コースは、専門性の高い法学教育を希望する学生と幅広い社会科学の教養を求める学生の両者のニーズに実質的に応えるカリキュラムを用意します。

✓ 法律専門職に就くために

弁護士・裁判官・検察官等の法律専門職を目指す学生に対して、一定の要件の下で3年早期卒業が可能となる「法曹コース・プログラム」を2020年度より開設しました。

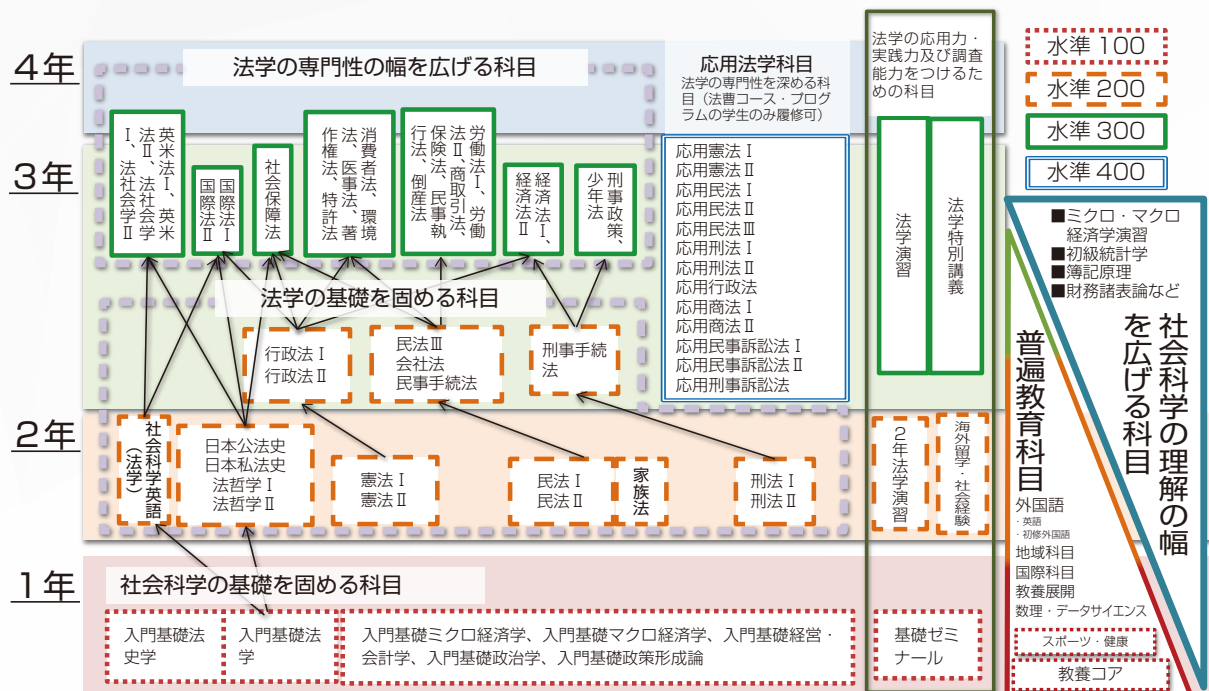
このコースは、千葉大学法科大学院と連携し、最短で学部3年間＋法科大学院2年間の併せて5年間で司法試験受験資格、最短約6年で法曹資格を取得することを可能とします。このコース独自の科目として、法学の専門性を深め、少人数教育により集中的に法を学ぶための「応用法学科目」を提供しています。詳しくは本冊子13ページ「法曹コース・プログラム」をご覧ください。

✓ 即戦力の万能な社会人になるために

法学を中心に勉強しながら、経済学等の隣接学問をより広くかつ深く学ぶことで、法的な視点から社会の様々な問題を分析・解決する能力を高いレベルで身に付けてもらいます。また、3・4年次生には各専門分野に関する「法学演習」という10名程度の学生と教員との間

でのディベート形式の授業も提供されます。これらによって、幅広い社会科学の教養と高い対話能力を身に付けた法学修得者という、現代社会で強く求められながら伝統的な法学教育では養成しにくかった人材を育成します。

✓ 法学コースカリキュラムツリー



法科大学院(専門法務研究科)のご紹介

法学コースと連携・協力した法科大学院

千葉大学では、法科大学院と法政経学部法学コースが密接に連携・協力しています。双方の教員が互いの授業を担当し、また、令和2年度からは、法政経学部に「法曹コースプログラム」を設け、法科大学院のカリキュラムと接続させることで、法曹に必要な法知識・法理論を、学部・法科大学院を通じて一貫的・体系的に学べるシステムを構築しています。

千葉大学法科大学院の修了生は、これまで6割以上が司法試験に合格し、法曹(弁護士・裁判官・検察官)として活躍しています。教員陣は、各分野のトップクラス及び新進気鋭の研究者と経験豊富な実務家で構成され、個々の学生に目配りした質の高い少人数教育を行っています。



生きている一人ひとりのために

専門法務研究科長・教授(商法)

小林 俊明

千葉大学大学院専門法務研究科は、「生きている一人ひとりのために」生活者の視点を忘れない法曹の養成という理念のもと、小規模コースクルの特性を活かした教育を実践しています。

ロースクールは、法曹養成に特化した専門職大学院ですから、双方向の密度の濃い授業を行うのは当然ですが、本研究科では基礎力を重視し

た指導を行っている点に特色があります。また、刑事模擬裁判や法曹倫理といった実務科目でも、派遣裁判官や派遣検察官の先生方が、熱意溢れる指導を行っています。

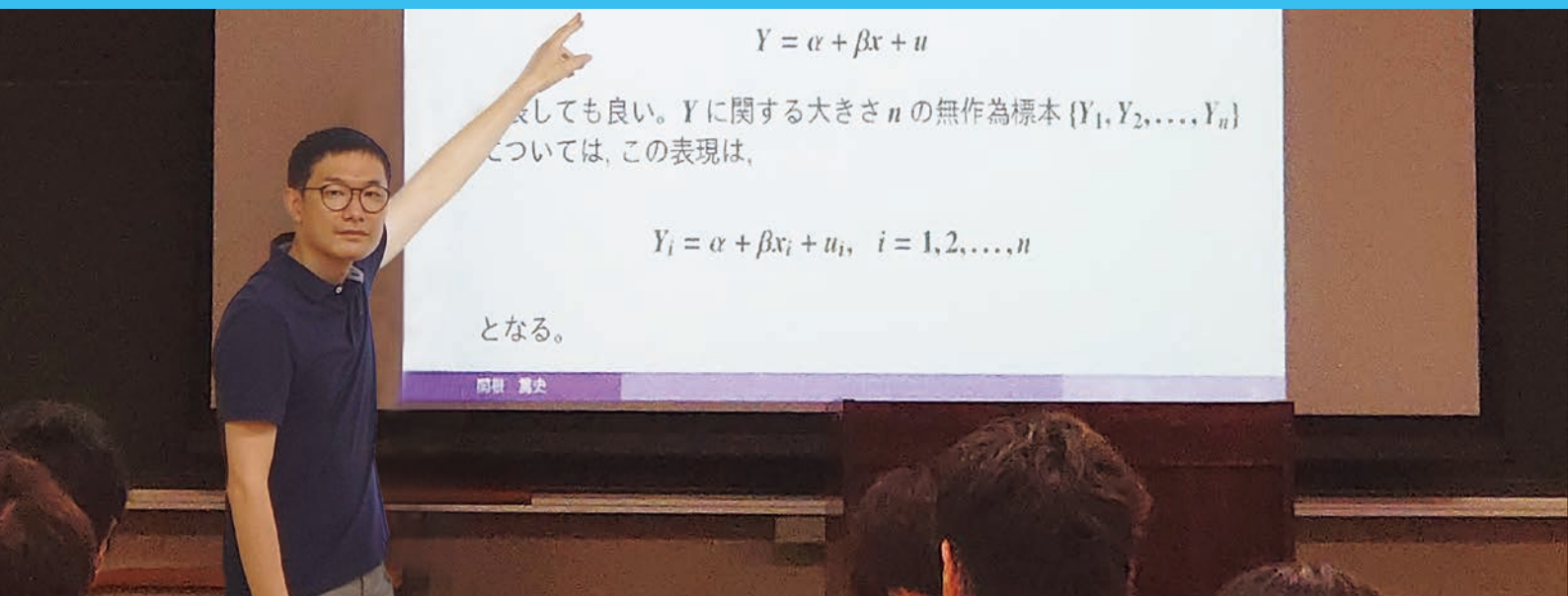
令和2年から法政経学部に設けられた法曹コース・プログラムでは、本研究科の専任教員も、「応用憲法」「応用民法」「応用刑法」等、主要な科目を担当しており、効率的な学修が可能となりました。このプログラムを修了した後、本研究科の特別入試を受験し進学することも検討に値するでしょう。学部入学から数えて最短6年(学部3年+法科大学院2年+在学中受験+司法修習1年)で、法曹資格を取得できる途が選択肢の一つに加えられたということです。同じ志をもつ仲間とともに切磋琢磨する機会があれば学修にも弾みがつくでしょう。

いずれにせよ教職員一同、法曹を志す皆さんと本研究科でお会いできる日を楽しみにしています。

経済学コース

MAJOR IN ECONOMICS

広い社会諸科学の教養のうえに、経済学の専門知識を深く学ぶことを通して、グローバル社会をリードしうる人材を養成します。



✓ 経済学コースの目的

経済学とは、人々が働き、所得を得て、そして消費することによって得られる満足や幸福をどのようにすれば高めることができるかを主に研究する分野です。経済とはもともと、世を治め人々を救済することを意味する「経」世「済」民という言葉から来ています。少子高齢化、所得・資産格差の拡大、あるいは環境問題など、現代社会には様々な経済的問題が山積しています。本コースの目的は、こうした問題が発生するメカニズムを理解し、そしてその問題への解決策を提示する能力を養成することです。

✓ 経済学の手法

経済学は、現在から遠い将来にわたる満足や幸福を長期的視野に立って最大化するにはどうしたらよいかを考えます。興味深いことに多くの場合、遠い将来の満足や幸福を軽視せず、将来全体の満足度を向上させることが大切であることが証明されています。近視眼的な発想は、最善の策ではないのです。経済学は、過去からの教訓を含め現時点で得られる可能な限りの情報を駆使してこの難題に挑みます。これらの情報はデータ解析や統計学などの手法を用いて分析され、将来の予測や計画に反映されます。さらに経済学は、様々な理論を用いて、過去の経済現象を分析することで、人々が様々な

自然環境や社会の枠組みの中でどのような選択を下して行動したかを明らかにします。その成果は将来の人々の満足度・幸福度を向上させるために役立てられます。

このように経済学は、数学、統計学、コンピュータ・サイエンスといった自然科学と歴史学などの社会科学の両方を駆使して長期的視点から難題を解決に導いて行くという、前向きに挑戦する学問なのです。

✓ 経済学コースの特色

本コースの第一の特色は、国内そして海外の著名大学で博士号を取得した教員が、各々の研究成果に根差した質の高い授業を提供している点です。問題の解明や処方箋の提示は、広く深い学問的基盤と内外の新しい研究成果に裏付けられ進化する必要があります。こうした基盤と進化は、少人数で構成されるゼミナールでの積極的な報告・討論や講義科目を通じて教授されます。



第二の特色は、留学、あるいは国際的なビジネスの世界での活躍を念頭に、複数の講義科目を英語で提供することです。令和2年度は上級ミクロ経済学(Advanced Microeconomics)、開発経済学(Development Economics)といった科目等が英語で講義されております。

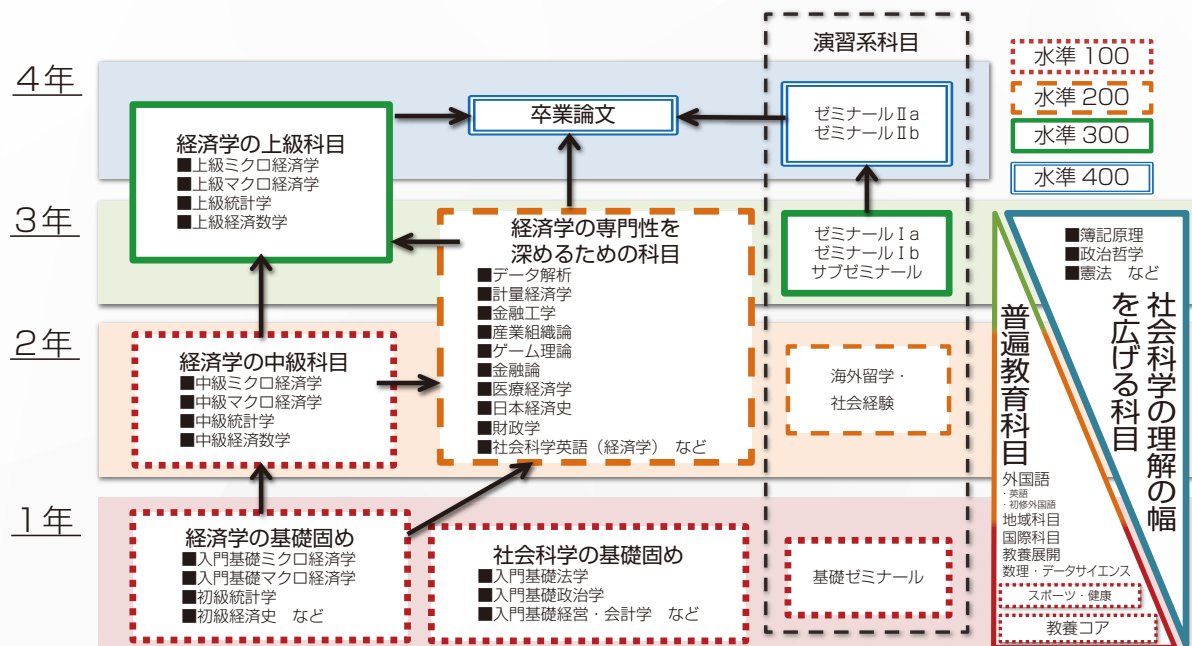
そして第三の特色は、成績優秀者を対象とした「経済学特進プログラム(3年終了時卒業制度)」です。このプログラムは、受験時点ですでに経済学を専攻することを決めている学生や、一日も早くビジネスの世界や経済専門職・研究者の道へ進むことを希望する学生を対象にしています。詳しくは本冊子13ページ「経済学特進プログラム」をご覧ください。

✓ 将来の可能性

経済学コースは、卒業生の様々な可能性を想定して設置されています。国内の民間企業へ就職する学生にとっては、ビジネスの場での活躍に寄与するような授業形態やカリキュラムになっています。英語での授業の提供や特進プログラムの設置は、国連などの国際機関や官公庁における経済専門職、大学教員やシンクタンク・エコノミストなどの研究者を目指す学生にも役立つことを企図しています。さらにこれらは本学の大学院だけでなく、海外のビジネススクールやPh.D.programへの進学を希望する学生にも適しています。



✓ 経済学コースカリキュラムツリー



経営・ 会計系コース

MAJOR IN MANAGEMENT AND ACCOUNTING

経営学・会計学を中心に、社会科学諸分野を広く学ぶことで、
ビジネスの現場で通用する実践力を持った人材を養成します。



✓ 経営・会計系コースの目的

経営学は、企業が従業員を動機づけ、消費者のニーズに合った製品・サービスを生産、販売し、そして得た利潤を従業員や株主に配分していくメカニズムを論理的に説明する学問です。そして会計学は、その企業行動から生じた資産や損益の変動に関する数的情報を研究する学問です。

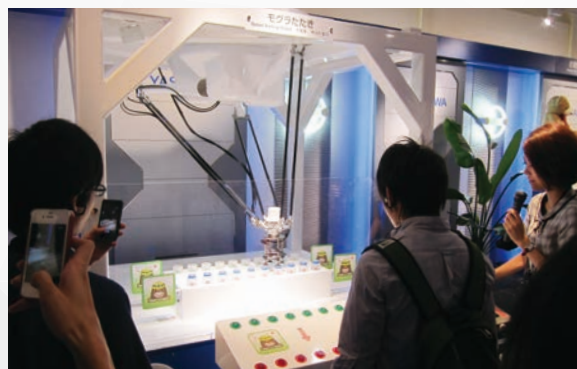
日本企業は総じて、第二次世界大戦後から1990年代にかけての経済成長に支えられて目覚ましく成長してきました。しかし、バブル経済が崩壊してからは、それまで盤石だと思われていた競争力に陰りが見える企業も現れてきました。日本企業といえども、世界の人々の意識の変化、ニーズの多様化そして技術革新に対応できる企業のみが生き残る時代になったのです。今は欧米企業だけでなく、アジアを中心とした台頭著しい新興企業とも激しく競争しなければなりません。

また、企業が海外に拠点を設け、現地で人を雇い資金を調達することが普通になる中で、各国の法令に合わせた会計報告と税務申告が求められるようになりました。グローバル化の進展に伴い、国際会計基準への対応も必要となっています。経営・会計系コースは、時代の変化とともに生じる企業の経営・会計上の課題について多面的に理解し解決していくための考え方、モノの見方を養うことを目的としています。

✓ 基本理論から最先端の実践まで

変化の激しい環境下で、企業は日々新しく多種多様で複雑な課題に直面していますが、解決策は各企業によってさまざまです。なぜならば、企業によって提供する製品・サービスの大きさや寿命、生産量そして販売地域などが異なり、そして顧客や製品に対する考え方も違うために、同じ状況下であっても見えているもの、すなわち主観的環境が異なるからです。いずれ就職を考えている学生はこれらのことを深く理解する必要があり、そのためにはさまざまな考え方、モノの見方を修得しておくことが肝要です。

経営・会計系コースは、経済学コースなどで提供される基礎的な講義科目をベースに、経営学・会計学の基礎



工場見学の様子

から応用、理論から実践まで、幅広い講義科目を用意しています。経営学ならば、組織・戦略・マーケティング・人的資源・研究開発・中小企業・イノベーション、会計学ならば、簿記・財務会計・管理会計・原価計算・財務管理・監査など講義内容は多岐にわたります。講義においては最新の研究成果はもとより、経営の最前線の状態を常に観察し、本質をつかもうとする教員集団が、教科書には描ききれない理論と現実の一致と乖離を説明します。

また少人数のゼミナールでは、学生の自主的、積極的な参加により最新の課題に対する討論や議論がなされ、友人たちと切磋琢磨し人間力を高め、ビジネスの世界で通用する実践的な能力を身につけることができます。

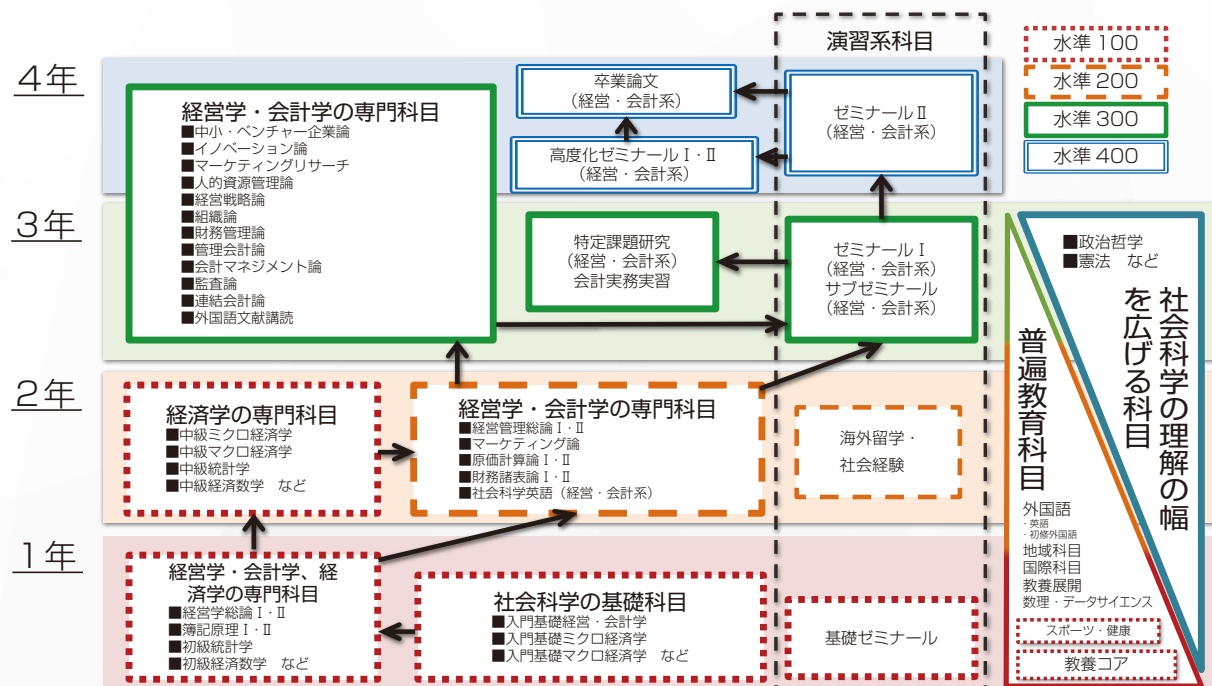
実学の精神

実学とは私たちの生活に役立つ理論というだけでなく、その理論がいつでもどこでも実証可能である科学であるということを意味します。特に経営学・会計学は、理論の実践を通して問題を解決する実学の代表的分野です。私たちは自ら進んで実学を修得し、現実世界において自らが問題を発見し、考えて判断し、その解決に向けて行動することが求められています。

経営・会計系コースでは、教員による講義はもとより、第一線で活躍する経営者から話を聞いたり、民間企業の工場を見学したりする事で多角的な視点が養われます。また、大学は高等教育を修めるのと同時に、全国各地、世界各国から若者が集う場でもあります。学生はさまざまな活動を通じ切磋琢磨し、自ずと実学を吸収することができます。



経営・会計系コースカリキュラムツリー



政治学・政策学コース

MAJOR IN POLITICS AND POLICY SCIENCES

幅広い社会科学諸分野の教養のうえに成り立つ思想的な基盤を持ち、かつ、実践力を身につけ、地域社会や国際社会の公共的な課題の解決に取り組める人材を養成します。



✓ 政治学・政策学コースの目的

政治学・政策学コースは、幅広い社会科学諸分野の教養のうえに成り立つ思想的な基盤を持ち、かつ、実践力（課題発見力・立案力・調整力）を身に付け、地域社会や国際社会の公共的な課題の解決に取り組める人材を養成します。具体的には将来、民間企業、官公庁（地方自治体・国）に加えて、国際機関、NPO/NGOで働くこと、議員として活動すること、さらには国内、海外の公共系大学院などへ進学することを想定して人材育成（政治学・政策学士）を行います。

✓ 政治学を学ぶ

法律が社会を規定する枠組みであるとするれば、政治はその枠組み自体を作ったり変えたりするものといえます。より良い社会を作っていくためには政治の仕組みを学習するだけでなく、間接的であったとしても自らが社会や政治とどのように関わっていくかを考える必要があります。また、現在に関してだけ学ぶのではなく過去の政治的経験を分析していくことも不可欠です。そして日本だけに留まらず、国際的な見地を組み込むことは、多様で寛容な思想や世界を形成する第一歩となるでしょう。政治学は、良い社会を築くための指針を提供します。

✓ 社会科学諸分野の総合的な学習

本コースでは、政治学系科目と政策学系科目を中心とする講義科目と、英語開講科目・少人数演習科目を含む各種の実習系科目を設けています。また、公共系大学院への進学を目指す演習科目も用意しています。政治学・政策学の両学問に対する時代と社会の要請は、単なる理論家の養成をこえた現実的な問題発見・解決能力をもつ人間の育成にあります。したがって本コースでは、基礎的知見や方法の習得とあわせて実践的能力の習得をも重視します。実態調査などのフィールドワークや、官公庁などの政策実施母体とのネットワークも重視しています。



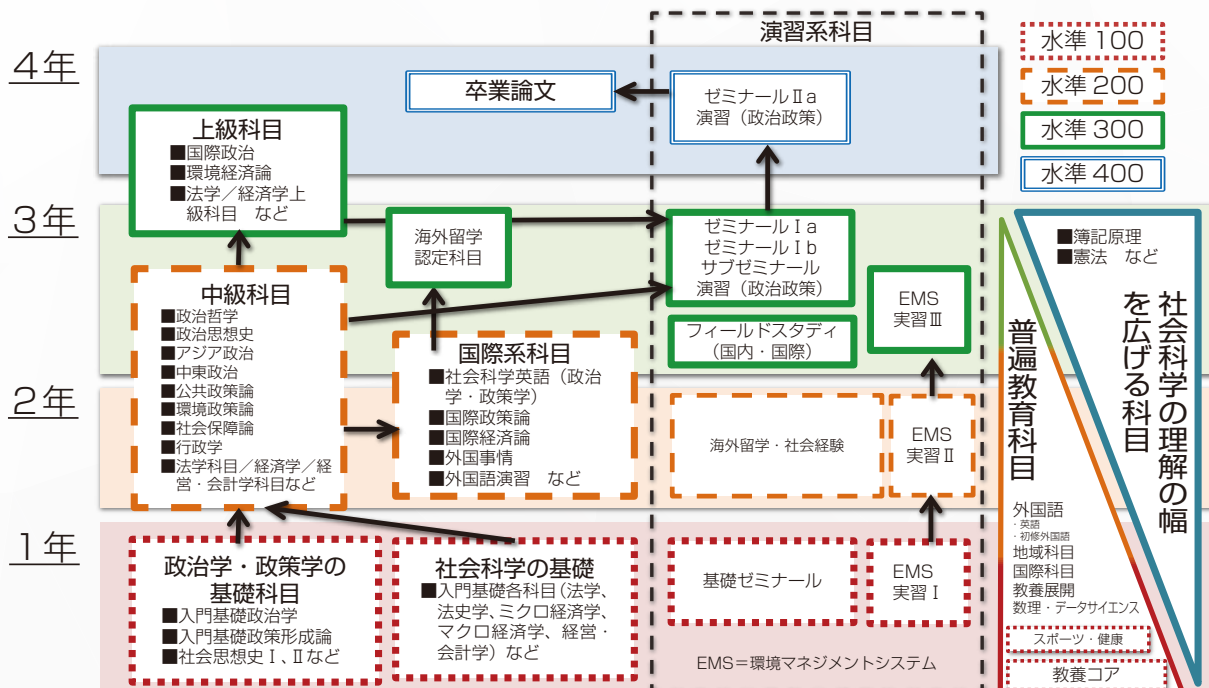
✓ 政策学を学ぶ

21世紀の日本社会は、少子高齢化と情報化のもとの雇用形態の変容、環境問題の深刻化など、かつて経験しなかった事態に直面しています。こうしたなかで地域社会の構築、都市生活の再編にかかわる法的・行政的・政治的な諸課題について、新たな観点に立って教育・研究することが必要です。また、国際社会のグローバル化・

ボーダーレス化の進展にともない、世界の各地域社会のもつ「多様性」を理解しつつ、国際的な秩序を形成するための原理や規範を実践的、政策的課題に取り組むことが必要になります。政策学はこうした国内問題や国際問題を、社会政策や地域研究という視点から総合的に探究します。



✓ 政治学・政策学コースカリキュラムツリー



充実したキャンパスライフが 新しい発見や創造的な発想の源となります。



法政経学部
法政経学科 4年
馬杉 芽依さん



一日のスケジュール(3 年次)



8:00

起床

課題がたくさんある時にはどうしても夜型の生活になってしまうこともあります。午前中の授業を集中して受けられるようにする為にもできるだけ生活リズムを乱さないように心掛けています。



10:30

講義

法政経学部はその名の通り、法学、政治、経済、経営・会計という幅広い学問を扱っている学部です。私は法学コースに所属していますが、色々なジャンルの講義を取ることで幅広い知識を得られるように意識して講義を選びました。履修の際には、先輩の意見なども聞きつつ、自分の興味に合わせて講義を選択すると良いと思います。

一週間の生活

	月	火	水	木	金	土	日
6:00						起床	
7:00							
8:00	起床	起床	起床	起床	起床	通学	起床
9:00							
10:00							
11:00	講義 (オンライン)	通学	課題や 自由時間	講義 (オンライン)	通学	部活	課題や 自由時間
12:00	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	移動	昼食
13:00	講義 (オンライン)	講義 (オンライン)			講義 (対面)	昼食	
14:00							
15:00			通学	通学	講義 (対面)		
16:00		講義 (対面)		ゼミ	講義 (対面)		課題や 自由時間
17:00	課題や 自由時間	部活	部活		部活		
18:00				移動			
19:00		移動	移動		移動	アルバイト	
20:00							
21:00		帰宅	帰宅		帰宅		
22:00	課題や 自由時間	課題や 自由時間	課題や 自由時間	課題や 自由時間	課題や 自由時間		課題や 自由時間
23:00						帰宅	
0:00							

移動時間

私は実家暮らしで移動時間が長いので、本を読んだり、オンデマンド講義の受講や課題を進めたりする時間にあてています。でも疲れている時は、寝てしまうことも…。

私のお気に入り



高跳びのスパイク

大学生になってから新しく買い替えたスパイクです。高跳びを始めてから9年目に入りました。大学生になってからは授業や大祭の準備との両立がうまくいかず、落ち込むこともありましたが、「このスパイクを履いて良い記録を出すぞ」というモチベーションになっています。



ゼミ

私は法学系のゼミを受講しています。現在受けている労働法のゼミでは、学生同士で教科書の内容やそれを元に調べた内容の報告をしたり、質問をしたりして理解を深めています。受講している学生数は少なく、報告も少人数のグループに分かれて行っているため、先生との距離も学生同士の距離も近いと感じられるゼミです。



12:00

昼食

最近では授業の合間にパッと済ませてしまうことも多くなりましたが、時々感染症対策をしながら、友人と昼食を取ることもあります。千葉大にはライフセンターやキッチンカー、3つのフードコートなどがあり、その日の気分に合わせて色々な選択肢があるのも楽しみの一つです。

16:00

16:30

部活

千葉大学陸上競技部、通称“ちばりく”に所属しています。部員一人ひとりがそれぞれの目標に向けて努力できる、とても良い雰囲気



気の部活です。私は中学から続けている走高跳びを専門にしています。コロナの影響で練習ができない期間があったり、大会が中止になったりして思うように活動できない期間に苦しみ時もありましたが、今後の大会で少しでも良い結果を残すために日々練習を積んでいます。



✓ アクセス

法政経学部生の約3割が自宅から通学しています。最寄駅(JR総武線西千葉駅、京成千葉線みどり台駅)からキャンパスまで徒歩数分で、アクセスの良さは群を抜いています。



✓ 一人暮らし

キャンパス近くで一人暮らしする部屋の広さは平均6畳、家賃は月4～6万円が相場です。光熱費や食費などを合わせると、生活費はおよそ月10万円かかります。



✓ アルバイト

アルバイトをする学生は、月あたり2～6万円を稼いでいるようです。学力を向上させ、将来にわたる友人との関係を構築するという大学本来の目的から逸脱しないよう、節度ある姿勢が求められます。



✓ 学びやすい環境

緑豊かで広大なキャンパスから、文化と社会科学の情報発信地・東京まで40分、約700円の距離。おだやかな日常生活を送りつつ、ダイナミックな世界の動きを直接感じることができるメリハリのきいた環境は、社会のさまざまな事象に対する感覚を研ぎ澄ませます。

経済学特進プログラム(早期卒業)

本学部は、学習意欲の特に高い学生を対象として、1年次から専門教育を集中的に実施し、3年間で卒業を可能とする経済学特進プログラムを設けております。日本国内にある社会科学系学部の中で、早期卒業を念頭に置いたプログラムは他にはほとんどなく、本学独自の先進的な教育課程といえます。本プログラムは、通常4年間の履修内容を3年間に圧縮するためハードな授業内容となっております。そのため受講者にはプログラム修了まで相当の努力をすることが期待されています。なお、進学計画を途中で変更し、4年で卒業する通常のコースへ変更することも可能です。

本プログラムは、受験時点ですでに経済学を専攻することを決めている意欲の高い学生や、一日も早くビジネスの世界や経済専門職・研究者の道へ進むことを希望する学生を対象に実施しております。現代社会が抱える諸問題に対し、経済学の高度な専門知識を用いて緻密に分析する力を養成することが本プログラムの目標です。2014年度よりスタートし、2022年4月現在、1年生0名、2年生1名、3年生2名が本プログラムを受講しています。プログラム修了後は学士(経済学)の学位を取得できます。将来千葉大学人文公共学府をはじめとする国内、そして海外の大学院(経済学専攻)への進学を希望する学生にも適した制度です。国内外の著名大学にて博士号(PhD)を取得したスタッフが熱意をもって指導に当たります。

選抜方法

本プログラムは独自入試を行います。詳しくは右側のページ(14ページ)にあります「入試情報」および出願年度の「経済学特進プログラム総合型選抜学生募集要項」をご覧ください。

受講者の声

本プログラムは経済学をしっかりと学びたい学生にとって最適な環境だと思います。1年次から少人数でのきめ細やかな指導が受けられるだけでなく、通常コースでは3年次から始まるゼミ活動についても2年次から参加することとなるため、早い段階から専門的な内容を深めることができます。各専門分野で活躍する先生方との距離が非常に近く、適時アドバイスを受けながら学問に没頭できる、まさに理想的な学習環境と言えます。



(3年生 H.Kさん: 千葉県立千葉高等学校出身)

法曹コース・プログラム

本学部は、法科大学院への進学を希望し、かつ早期卒業を目指すための教育プログラムとして、2016年度から法学特進プログラムを実施してきましたが、2020年度からこのプログラムを発展させた「法曹コース・プログラム」を新設しました。本プログラムでも、法学特進プログラムと同様、千葉大学法科大学院と連携し、最短で学部3年間+法科大学院2年間の併せて5年間で司法試験受験資格を取得することを可能とします。本プログラムで所定の科目の単位を修得した者は、3年次から、本学法科大学院の特別選抜枠での入試が受験可能となります。

本プログラム修了後は学士(法学)の学位を取得できます。2022年4月現在、2年生11名、3年生14名が本プログラムを受講しています。授業内容は、本学法科大学院と連携し、法科大学院既修コース(2年)入学後の授業へスムーズに対応できるだけの学力を修得させるものとなっておりますが、4年間の履修内容を3年間に圧縮するため相当ハードであり、受講にはかなりの努力が必要となります。

卒業生の声

本コースの最大の魅力は、早期に法学の学習を始めることができる点、そして司法試験に合格するまでの年数や経済的負担を軽減できる点にあります。また、同じく法曹を目指す仲間に出会うことができる点も本コースの魅力の一つであると思います。お互い同じ目標に向けて情報交換をしたり切磋琢磨できたことは、モチベーションの向上にもつながり、何より非常に楽しくかけがえない思い出となりました。



(S.Kさん: 法曹コース・プログラムの前身である特進プログラム3年次在学中に予備試験を合格、早期卒業。翌年には司法試験合格、司法修習を終え、最短で裁判官任官)

入試情報

入学者選抜実施状況 (令和4年度)

※下記のデータは、令和4年度実施の大学入試共通テストと千葉大学個別学力検査の結果から算出したものです。
入学定員、募集人員などの詳細は、出願する年度の「学生募集要項」で確認してください。

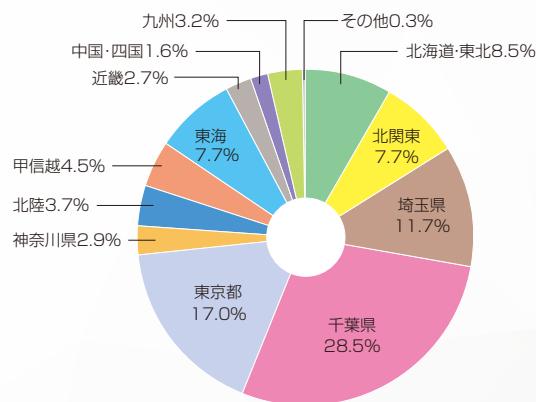
入学定員	前期日程試験			後期日程試験		
	募集人員	志願倍率	合格者の 平均得点率(%)	募集人員	志願倍率	合格者の 平均得点率(%)
370	295	3.2	58.7	70	10.6	79.5

経済学特進プログラム総合型選抜 ※出願期間: 令和4年10月末を予定

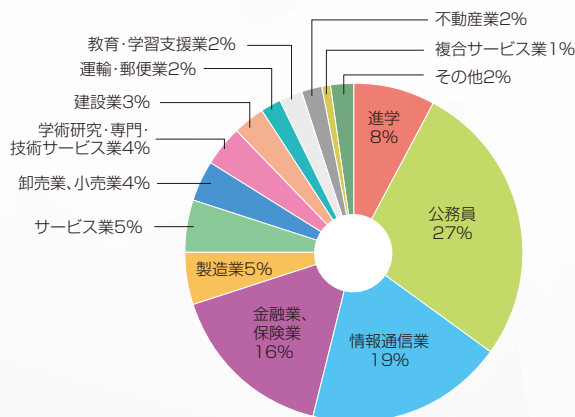
募集人員	出願資格
5名	①、②及び③の要件を満たす者 ①高等学校を卒業した者及び令和5年3月までに卒業見込みの者他 ②高い英語力を持つ者 ③令和5年度の大学入学共通テスト「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」を受験する者

※詳細については、必ず出願する年度の「経済学特進プログラム総合型選抜学生募集要項」を確認してください。特に②、③および出願期間に関する詳細には注意してください。
募集要項は、本学入試案内サイト (<https://www.le.chiba-u.jp>) で確認できますが、新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、募集要項の内容が変更になる可能性があります。

入学者の出身地域 (令和4年度)



卒業生の進路状況 (令和3年度)



卒業生の主な就職先・進学先

令和4年3月の卒業生は、以下のようなところに就職・進学しました。

【就職先】

NTTファイナンス、TMI総合法律事務所、アフラック生命、オリックス生命、京葉銀行、千葉銀行、パーソナルプロセス&テクノロジー、三井住友海上火災保険、楽天グループ、りそな銀行、会計検査院、厚生労働省、国土交通省、参議院事務局、新宿区役所、千葉県庁、千葉市役所、東京都庁、法務省、文部科学省 他

【進学先】

千葉大学専門法務研究科、千葉大学大学院人文公共学府、中央大学法科大学院、東京大学大学院経済学研究科、東京大学法科大学院、大阪大学大学院法学研究科 他

取得可能免許・資格一覧

- ・学芸員資格の取得
 - ・司書資格の取得
- ※法政経学部では教員免許は取得できません。

交通
経路

品川駅・東京駅から

JR総武線・横須賀線
(快速)「稲毛」駅で総武線(各駅停車)に
乗換え「西千葉」駅下車、徒歩2分

秋葉原駅から

JR総武線(各駅停車)

「西千葉」駅下車、徒歩2分

上野駅から

京成本線

「京成津田沼」駅で京成千葉線に
乗換え「みどり台」駅下車、徒歩7分

羽田空港から

京浜急行線

「品川」駅でJR総武線・横須賀線
(快速)に乗換え「稲毛」駅で総武線
(各駅停車)に乗換え「西千葉」駅
下車、徒歩2分

東京モノレール

JR「浜松町」駅で山手線又は京浜
東北線に乗換え「東京」駅で総武線
(快速)に乗換え「稲毛」駅で総武線
(各駅停車)に乗換え「西千葉」駅
下車、徒歩2分

- JR西千葉駅よりキャンパス南門まで徒歩約2分
- 京成みどり台駅よりキャンパス正門まで徒歩約7分
- 千葉都市モノレール天台駅よりキャンパス北門まで徒歩約10分



千葉大学 法政経学部

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 Tel.043-290-2350 E-mail:bhgakumu@office.chiba-u.jp

詳しくはこちらをご覧ください

URL <https://www.le.chiba-u.jp>スマートフォンからの本学部
サイトへのアクセスには下記
のQRコードをご利用ください。